



ENCORE PROFILE 1000 WW



ユーザーマニュアル



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL : 0476(89)1111 FAX : 0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、American DJ の ENCORE PROFILE 1000 WW をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ENCORE PROFILE 1000 WW は 120W ウォームホワイト LED を光源にもつ LEDスポットライトです。本製品の性能を最大限に発揮させ、安全に、末永くお使い頂くため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。

基本仕様

- 3種類の動作モード
- 電子調光機能(0～100%)
- 5種類の選択可能な調光カーブ
- GOBO(ゴボ)4枚付属
- DMX-512プロトコル対応
- ロック機構付き3ピンおよび5ピンXLR入出力コネクター
- DMXモード: 1チャンネルモード、2チャンネルモード、3チャンネルモード
- ADJ LED RC2、ADJ UC IR(別売)対応

安全上の注意

1. 修理が必要となった場合に備え、梱包箱は必ず保管してください。
2. 本機に水やその他の液体をこぼさないでください。
3. 使用する電源コンセントが、本機の定格電圧と一致していることを確認してください。
4. いかなる状況でも本機を開けないでください。内部にユーザーが修理可能な部品はありません。
5. 長期間使用しない場合は、主電源を切ってください。
6. 本機をディマーマックに接続しないでください。
7. 本機が破損している場合は、絶対に操作しないでください。
8. カバーを外した状態で本機を操作しないでください。
9. 感電や火災のリスクを減らすため、本機を雨や湿気にさらさないでください。
10. 電源ケーブルが擦り切れていたり破損している場合は、絶対に使用しないでください。また、電源ケーブルのアース端子を取り外したり折ったりしないでください。アース端子は、内部ショート時の感電や火災のリスクを軽減するためのものです。
11. いかなる接続作業を行う前にも、必ず主電源を切ってください。
12. 換気孔を塞がないでください。必ず適切な通気が確保できる場所に設置してください。本機と壁の間には約15cmのスペースを確保してください。
13. 本機は屋内専用です。屋外で使用された場合、すべての保証が無効となります。
14. 本機は安全かつ安定した方法で設置してください。
15. 電源ケーブルは人が踏んだり、物の下敷きにならないように配線してください。
16. 使用可能な周囲温度範囲は-10° C～45° Cです。この範囲外では本機を操作しないでください。
17. 付属の電源ケーブルは、本機専用の電源ケーブルです。本機をご使用の際は必ず専用のケーブルを使用してください。

※故障が生じた場合は販売店までご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けた場合、保証の適用が受けられなくなることがあります。

本機の設置は必ず専門業者が行い、人の手が届かない場所に設置してください。

DMXセットアップ

電源について

ADJ Encore Profile 1000 WWには自動電圧切替スイッチが搭載されており、電源に接続すると自動的に電圧を検知します。

DMX-512

DMXは「Digital Multiplex (デジタル・マルチプレックス)」の略で、インテリジェント照明機器とコントローラー間の通信に使用される汎用プロトコルです。DMXコントローラーは、照明機器に対してDMXデータの指令を送信します。DMXデータはシリアルデータとして送られ、すべてのDMX対応機器に備えられたXLR端子の「DATA IN」と「DATA OUT」を介して機器間を伝達します (ほとんどのコントローラーには「DATA OUT」端子のみが搭載されています)。

データケーブル(DMXケーブル)の要件(DMX操作用)

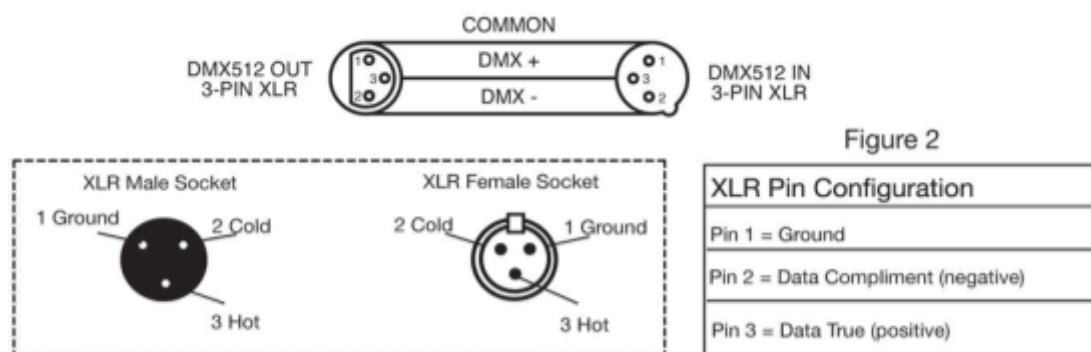
Encore Profile 1000 WWは、DMX-512プロトコルによって制御することができます。本機には3つのDMXモードがあります。DMXアドレスは、Encore Profile 1000 WWの背面パネルで設定します。本機およびDMXコントローラーには、データ入力および出力用に標準の3ピンまたは5ピンXLRコネクタが必要です (図1参照)。



自作する場合は、標準の110~120オームのシールドケーブルを使用してください。ケーブルの一端にはオスXLRコネクタ、もう一端にはメスXLRコネクタを取り付けてください。また、DMXケーブルはデジチェーン接続で使用し、分岐させることはできませんのでご注意ください。

注意

自作でケーブルを製作する際は、XLRコネクタのグラウンドラグは使用しないでください。ケーブルのシールド導体をグラウンドラグに接続したり、XLRケーブルの外装と接触させたりしないでください。シールドを接地するとショートを引き起こし、動作不良の原因となる可能性があります。



ライン終端処理

ケーブルを長距離で配線する場合、最後の機器に終端処理(ターミネーター)を施す必要があります。これにより、動作不良や信号の乱れを防ぐことができます。ターミネーターとは、110～120Ω、1/4ワットの抵抗器を、XLRオスコネクタのピン2(DATA+)とピン3(DATA-)間に接続したものです。このターミネーターを、デジチェーンの最後の機器のXLRメスコネクタに挿入してラインを終端します。



終端処理は、信号エラーを減少させ、信号伝送の問題や干渉を防ぐ効果があります。DMXラインの最後の機器には、DMXターミネーター(抵抗値:120Ω、1/4ワット)を接続することが推奨されます。この抵抗は、XLRオスコネクタのPIN 2(DMX-)とPIN 3(DMX+)の間に接続されます。そして、このターミネーターをデジチェーンの最後の機器のXLRメスコネクタに挿入することで、ラインを終端します。

5ピンXLR DMXコネクタについて

一部のメーカーでは、DMX-512のデータ伝送に3ピンではなく5ピンのDMXケーブルを使用しています。5ピンDMX対応の機器は、3ピンDMXラインに組み込むことが可能ですが、標準的な5ピンデータケーブルを3ピンラインに接続する際には、ケーブルアダプターが必要です。これらのアダプターは、多くの電子機器販売店で入手可能です。

以下の表では、正しいケーブル変換方法が示されています。

3-Pin XLR to 5-Pin XLR Conversion		
Conductor	3-Pin XLR Female (Out)	5-Pin XLR Male (In)
Ground/Shield	Pin 1	Pin 1
Data Compliment (- signal)	Pin 2	Pin 2
Data True (+ signal)	Pin 3	Pin 3
Not Used		Do Not Use
Not Used		Do Not Use

操作手順

LCDバックライト設定

LCDバックライトを20秒後に自動消灯させるには、以下の手順に従ってください。

1. MODEボタンを押して、ディスプレイに「OTHER」が表示されるまで切り替えます。
2. SET UPボタンを押して、「OTHER BLGT:XX」が表示されるまで進めます。
「XX」は現在のバックライト設定状態を示します。
3. UPまたはDOWNボタンを使用して、以下のいずれかの設定を選択します：
 - OFF: 20秒後にバックライトが自動的に消灯します。
 - ON: バックライトが常時点灯します。

動作モード

Encore Profile 1000 WWIには、以下の3つの動作モードがあります：

1. **ディマーモード**：白色の光の強度を調整します。
2. **フェードモード**：本機がゆっくりとフェードイン・フェードアウトを繰り返します。
3. **DMXコントロールモード**：DMX 512コントローラーを使用して、各機能を個別に制御できます。

ディマーモード

1. MODEボタンを押してディスプレイに「MANUAL WHIT:XXX」が表示されるまで切り替えます。
2. UPおよびDOWNボタンを押して、出力の明るさ(光量)を調整します。
3. 出力の明るさを設定した後、SET UPボタンを押すことでストロボ機能を有効にできます。
4. ディスプレイに「STRO」と表示され、本機がストロボモードに入ったことを示します。
ストロボの速度は「00」(ストロボなし)から「15」(最速)まで調整可能です。

DMXモード

DMXコントローラーを使用することで、ユーザーは自身のニーズに合わせたカスタムプログラムを自由に作成できます。Encore Profile 1000 WWIには、以下の3つのDMXモードがあります：

1. 1チャンネルモード(CHAN: 01)
2. 2チャンネルモード(CHAN: 02)
3. 3チャンネルモード(CHAN: 03)

各モードのDMX機能については、本マニュアルの「チャンネルモード」セクションをご参照ください。

DMXモードの設定手順

1. MODEボタンを押して、ディスプレイに「DMX MODE ADDR:XXX」が表示されるまで切り替えます。
「XXX」は現在選択されているDMXアドレスを示します。
2. UPまたはDOWNボタンを押して、希望するDMXアドレスを選択します。
3. SETUPボタンを押して、DMXチャンネルモードの選択画面に進みます。
4. UPまたはDOWNボタンを使用して、希望するチャンネルモード(CHAN: 01～03)を選択します。
5. 選択が完了したら、本機とDMXコントローラーをXLR端子を介して接続してください。

フェードモード

1. MODEボタンを押してディスプレイに「FADE RUN SPEED:XX」が表示されるまで切り替えます。
「XX」は01～16の数値で、フェードモードの種類を示します。
2. UPおよびDOWNボタンを使用して、希望するカラーのフェードモードを選択します。
3. SET UPボタンを押すと「SPEED:XX」が表示されます。
4. UPおよびDOWNボタンを使用して、フェード速度を調整してください。

システムリセット

この操作を行うと、本機は工場出荷時の設定に戻ります。

1. MODEボタンを押してディスプレイに「OTHER MODE」が表示されるまで切り替えます。
2. SET UPボタンを押して、「SYSRESET」が表示されるまで進めます。
3. UPおよびDOWNボタンを同時に押すとリセットが実行されます。

ディマーカーブの設定

DMXモードで使用するディマーカーブを設定するには、以下の手順に従ってください。詳細は本マニュアルの

1. MODEボタンを押してディスプレイに「DMX MODE ADDR:XXX」が表示されるまで切り替えます。
2. SET UPボタンを押して、「DELAY:X」が表示されるまで進めます。
「X」は現在選択されているディマーカーブを示します(0～4)。
各数値の意味は以下の通りです：

- 0: Standard(標準)
- 1: Stage(ステージ)
- 2: TV(テレビ)
- 3: Architectural(建築照明)
- 4: Theatre(劇場)

3. UPまたはDOWNボタンを使用して、希望するディマーカーブを選択してください。

DMXステートの設定

このモードでは、DMX信号が途切れたり通信が失われた場合の本機の動作を定義します。また、本機が電源接続時に初期状態として起動するモードもこの設定によって決まります。

設定手順

1. MODEボタンを押して「DMX MODE ADDR:XXX」が表示されるまで切り替えます。
2. SET UPボタンを押して、「DMX MODE NO」が表示されるまで進めます。
現在のDMXステートが表示されます。
3. UPまたはDOWNボタンを使用して、希望するDMXステートを選択します。

選択可能なDMXステート

BLACK(ブラックアウト)： DMX信号が失われた場合、本機は自動的にスタンバイモードに移行します。

HOLD(ラストステート)： DMX信号が失われた場合、最後に設定されたDMX状態を維持します。

AUTO(オートラン)： DMX信号が失われた場合、本機は自動的にオートランモードに移行します。

IR受信機のオン／オフ設定

この機能は、赤外線センサーの有効／無効を切り替えるためのものです。有効にすると、ADJ LED RC2(別売)または ADJ UC IR(別売)を使用して本機を遠隔操作できます。

Encore Profile 1000 WWをリモコンで操作するには、付属のIR受信機を本体背面のIR入力端子に接続してください。リモコンはIRセンサーに向けて操作し、最大操作距離は約9メートルです。

設定手順:

1. MODEボタンを押して「OTHER MODE」が表示されるまで切り替えます。
2. SET UPボタンを押して、「IR: XX」が表示されるまで進めます。
3. 「XX」は現在のIR設定状態を示します。
4. UPまたはDOWNボタンを押して、リモコン機能を「ON」(有効)または「OFF」(無効)に設定します。

ガンマ設定

この機能は主に動画撮影時に使用されます。カメラに映る可能性のあるライン(縞模様など)を除去するために、ガンマ設定を調整してください。

設定の手順

1. MODEボタンを押して「GAMMA」が表示されるまで切り替えます。現在のガンマ設定が表示されます。
2. UP(上)ボタンとDOWN(下)ボタンを使って、ガンマ設定を変更します。

ファンスピード

希望するファン速度を設定できます。

設定手順

1. MODEボタンを押して「FAN SPEED」が表示されたら、ENTERボタンを押します。
2. UP(上)ボタンとDOWN(下)ボタンを使って、各種ファン速度を切り替えます。

PCB温度表示

機器の現在の温度を確認できるほか、華氏(Fahrenheit)と摂氏(Celsius)の表示を切り替えることができます。

切り替え手順

1. MODEボタンを押して「OTHER MODE」が表示されるまで切り替えます。
2. SET UPボタンを押して「TEM:XXXX」が表示されるまで進めます。
3. UP(上)ボタンとDOWN(下)ボタンを使って、華氏と摂氏の表示を切り替えます。

フォーカスとズームの調整

本体右側にあるノブは、フォーカスとズームの調整に使用します。

調整方法

1. 狭く、シャープなビームにするには、前方のノブ(第1ノブ)を器具の前方へ、後方のノブ(第2ノブ)を器具の後方へ動かしてください。
2. 広いビームにするには、前方のノブ(第1ノブ)を器具の中央付近へ、後方のノブ(第2ノブ)も中央付近へ動かしてください。

状況に応じて適宜調整してください。

プライマリー・セカンダリー接続

複数のユニットをリンクさせて「プライマリー・セカンダリー」構成で運用できます。1台のユニットが制御ユニット(プライマリー)として動作し、他のユニットはその動作に追従するセカンダリーとして機能します。いずれのユニットもプライマリーまたはセカンダリーとして設定可能ですが、リンクされたネットワーク内では、プライマリーとして設定できるユニットは1台のみです

接続と設定

1. 各ユニット背面のXLRコネクターを使用して、デ이지チェーン接続を行います。標準のXLRデータケーブルを使用してユニット同士をリンクしてください。なお、XLRコネクターのオス端子が入力、メス端子が出力です。チェーンの最初のユニット(プライマリー)はメス端子のみを使用し、最後のユニットはオス端子のみを使用します。
2. 「プライマリー」ユニットを希望の動作モードに設定します。
3. 「セカンダリー」ユニットでは、MODEボタンを押して「Secondry Mode」が表示されるまで切り替えます。これでユニットは「セカンダリー」として設定されます。すべてのセカンダリーユニットは同じ設定にする必要があります。
4. 最初の「セカンダリー」ユニットを「プライマリー」ユニットに接続します。これでセカンダリーユニットはプライマリーの動作に追従するようになります。

GOBO

Encore Profile 1000 WWIには、交換可能なゴボが4枚付属しています(下記参照)。

ゴボの取り付け手順:

1. ゴボホルダー底部にあるプラスネジを緩めて取り外します。
2. ゴボホルダーの側面の一部をそっと持ち上げ、ゴボを慎重にスライドさせて所定の位置に挿入します。
3. ネジを元に戻してしっかりと締めます。
4. ゴボホルダーを、ユニット上部のフレーミングレバー前方にあるスロットに差し込みます。



赤外線リモコンADJ LED RC2 について

ADJ LED RC2赤外線リモコン(別売)には、Encore Profile 1000 WWを操作するための多彩な機能が搭載されています。

操作方法

器具を操作するには、リモコンを赤外線センサーに向け、最大約9メートル(30フィート)以内の距離で使用してください。ADJ LED RC2を使用するには、まず器具側の赤外線センサーを有効にする必要があります。センサーの有効化手順については、本マニュアルの「操作手順」セクションをご参照ください。

BLACKOUT(ブラックアウト)

器具の出力が完全に遮断されます。

SELECT PROG(プログラム選択)

フェードモードが有効になります。「+」または「-」ボタンでフェードの速度を調整できます。

FLASH(フラッシュ)

ストロボ効果が有効になります。「+」および「-」ボタンでフラッシュ速度を調整できます。再度ホワイトボタンを押すとストロボモードを終了します。

SPEED(スピード)

このボタンに機能は割り当てられていません。

DMX MODE(DMXモード)

DMXアドレス設定、DMXチャンネルモード、ディマーカーブ選択の各モードを順に切り替えます。また、異なるDMXチャンネルモード間の切り替えも行えます。DMXモード、値、特性については本マニュアルの「チャンネルモード」セクションをご参照ください。

SECONDARY / SOUND ACTIVE(セカンダリー／サウンドアクティブ)

器具をプライマリー／セカンダリー構成のセカンダリーとして設定します。なお、サウンドアクティブ機能はこの器具には適用されません。

「+」および「-」ボタン

ラッシュ速度、フェードモードの速度、出力強度の調整に使用します。

SET ADDRESS(アドレス設定)

DMXアドレスを設定できます。最初にこのボタンを押し、次に数字キーで3桁の値を入力します。例:「S-0-0-1」と入力すると、DMXアドレス「1」が設定されます。アドレスが正しく設定されるとLEDが点滅し、器具は自動的にDMXモードに移行します。

R G B W ボタン

この器具ではR、G、Bボタンは使用されません。ホワイトボタンを押し、「+」または「-」ボタンで出力強度を調整します。FLASHボタンを押すとストロボが有効になり、「+」または「-」ボタンでフラッシュ速度を調整できます。

赤外線リモコン UC IR について

UC IR赤外線リモコン(別売)を使用すると、さまざまな機能を操作できます。操作する際は、リモコンを器具前面の赤外線センサーに向け、最大約9メートル(30フィート)以内の距離で使用してください。

各ボタンの機能

STAND BY(スタンバイ)

このボタンを押すと器具がブラックアウトします。再度押すと初期状態に戻ります。

FULL ON(フルオン)

このボタンを押し続けると器具が最大出力で点灯します。ボタンを離すと元の状態に戻ります。

FADE/GOBO(フェード/ゴボ)

このボタンを押すとフェードモードが有効になります。

DIMMER + / DIMMER -(ディマー調整)

ディマーモード時に出力強度を調整します。

STROBE(ストロボ)

このボタンを押すとストロボ効果が有効になります。

COLOR(カラー)

このボタンを押すとディマーモードが有効になります。「DIMMER +」および「DIMMER -」で色を切り替えます。

1～9の数字ボタン

この器具では使用しません。

SHOW 0

この器具では使用しません。

DMXモードについて

DMXコントローラーを使用することで、ユーザーは自身のニーズに合わせたカスタムプログラムを自由に作成できます。以下の手順に従って、DMXアドレス、DMXチャンネルモード、およびディマーカーブモードを設定してください。

設定手順

1. DMXコントローラーを接続する前に、DMX MODEボタンを押して希望のDMXチャンネルモードを選択します。「+」または「-」ボタンでモードを切り替えてください。アドレス設定の前にモードを確定してください。
2. 再度DMX MODEボタンを押すと、ディマーカーブの選択モードに入ります。「+」または「-」ボタンでディマーカーブモードを切り替えてください。
3. モードを選択したら、「S」ボタンを押して器具のDMXアドレスを設定します。「S」ボタンを押すとLEDが2～3回点滅します。数字キーを使って希望のアドレスを入力してください。

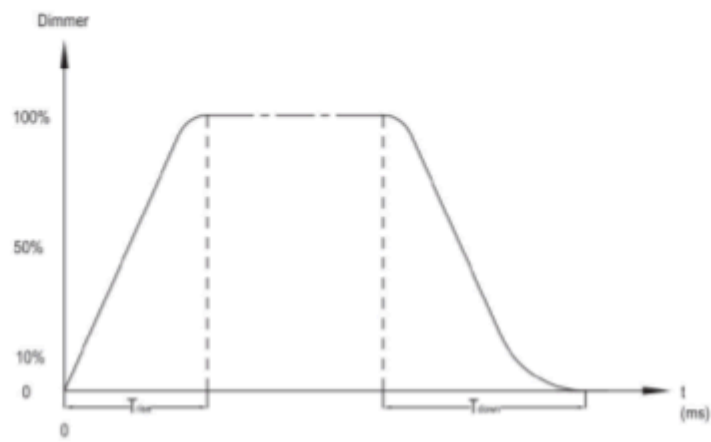
補足: DMXアドレスを設定する際、キーを押すたびにLEDディスプレイが点滅します。各キー入力後の点滅回数は、選択されたDMXチャンネルモードを示します。アドレスが正しく設定されると、すべてのLEDが2～3回点滅します。

- ・ ホワイトLEDが1回点滅 → 1チャンネルモード
 - ・ ホワイトLEDが2回点滅 → 2チャンネルモード
 - ・ ホワイトLEDが3回点滅 → 3チャンネルモード
4. 設定が完了したら、XLRコネクタを使用して器具を標準のDMXコントローラーに接続してください。DMXモード、各値、特性の詳細については、本マニュアルの「チャンネルモード」セクションをご参照ください。

CHANNEL			DMX VALUES	FUNCTION
1CH	2CH	3CH		
1	1	1	000 - 255	白, 0% → 五 100%
	2	2	000 - 255	マスターディマー, 0% → 100%
		3		ストロボ
			000 - 015	機能なし
			016 - 255	ストロボ, slow to fast

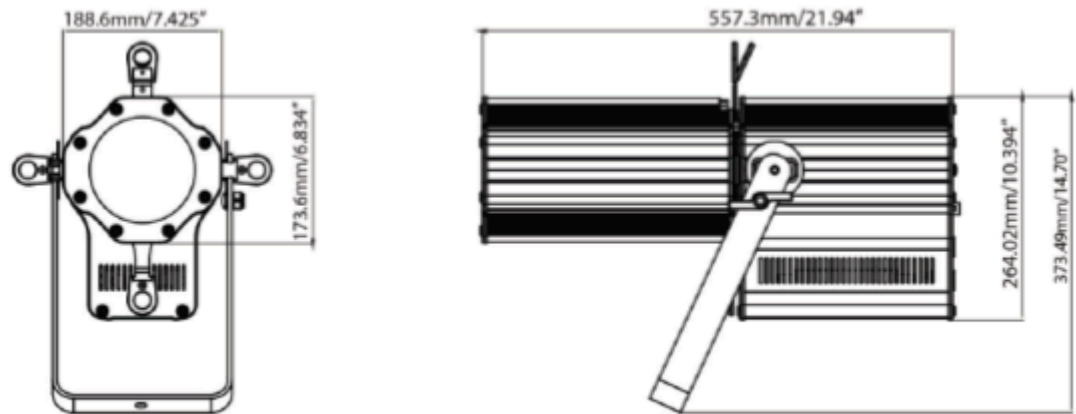
ディマーカーブ

DIMMER CURVE CHART



Ramp Effect	0 $\rightarrow$ 255 0S (Fade Time)		0 $\rightarrow$ 255 1S (Fade Time)	
	T_{rise} (ms)	T_{fall} (ms)	T_{rise} (ms)	T_{fall} (ms)
Standard	0	0	0	0
Stage	780	1100	1540	1860
TV	1180	1520	1860	1940
Architectural	1380	1730	2040	2120
Theatre	1580	1940	2230	2280

CAD DRAWING



電源リンク接続について

この器具は、同一モデルの器具同士を直列に接続することでリンク運用が可能です。背面のロック式電源入力および出力ソケットを使用して接続してください。

- この方法で接続できる器具の最大数は 5台 です。
- 5台を超える器具を使用する場合は、別の電源コンセントを使用してください。
- 接続するすべての器具は、
- 同一メーカー・同一モデルである必要があります。異なる機種を混在させないでください。

ヒューズの交換手順

1. 器具を電源から切り離します。
2. 電源コードを器具から取り外します。
3. 電源接続部の上にあるヒューズホルダーを確認します。
4. プラスドライバーを使用してヒューズホルダーを取り外します。
5. ヒューズホルダー内のヒューズを取り出し、新しいヒューズと交換します。
6. ヒューズホルダーを元に戻し、しっかりと固定します。

トラブルシューティング

DMX信号に反応しない場合、DMXケーブルが正しく接続され、配線されているか確認してください(通常、ピン3が「ホット」ですが、他のDMX機器ではピン2が「ホット」の場合もあります)。また、すべてのケーブルが正しいコネクタに接続されているかも確認してください。入力と出力の接続順序によって、器具の動作に影響を与えることがあります。

クリーニング

フォグの残留物、煙、ホコリなどの影響により、光出力を最適化するためには、内部および外部の光学レンズを定期的に清掃する必要があります。

- 外装は通常のガラスクリーナーと柔らかい布で拭いてください。
- 外部光学部品は、20日を目処にガラスクリーナーと柔らかい布で清掃してください。
- 清掃後は、すべての部品を完全に乾かしてから電源を接続してください。

清掃の頻度は、器具が使用される環境(例: 煙、フォグの残留物、ホコリ、湿気)によって異なります。

仕様

モデル名	Encore Profile 1000 WW
電圧	100V ～ 240V / 50～60Hz
LED	1 x 120W ウォームホワイト COB LED (3200K、CRI 98)
消費電力	144W
デジチェーン接続数	最大5台まで
ヒューズ	3A
重量	8.5Kg
寸法(ミリメートル)	560 × 250 × 385mm
発光色	ウォームホワイト
DMXチャンネル数	3チャンネル
DMXモード	1チャンネル、2チャンネル、3チャンネルモード